

平成30年度 教育部長の目標宣言 達成状況報告

教育部長 谷亀 博久

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
1	学校施設の適正な維持管理 (教育総務課)	教育環境の向上に向けた改修や修繕を実施するとともに、学校施設の快適な環境を保持するため、適正な維持管理に努めます。 また、老朽化した校舎等の維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図るための長寿命化計画の策定の準備を進めます。	・受水槽の更新工事 小学校1校 ・校舎及び体育館のトイレの改修工事設計業務 小学校2校	・教育環境の向上に向けた改修や修繕に取り組みました。 ・小中学校への空調機の設置やトイレの改修工事の設計を実施しました。 [今後の取組の方向性] ・空調機の設置やトイレ改修に取り組み、児童生徒の学習環境の向上に努めます。 ・学校施設の長寿命化計画の策定の準備を進めます。	・成瀬小学校の受水槽更新工事の施工 ・成瀬小学校及び比々多小学校の校舎及び体育館トイレの改修工事設計業務の実施
2	歴史・文化遺産を活かした地域活性化事業 (歴史文化担当)	地域の歴史や文化遺産の保護・活用と適切な継承を図るとともに、「歴史文化を活かした地域づくり協議会」や「日本遺産協議会」の事業を支援し、地域活性化と魅力あるまちづくりを推進します。	・指定登録制度の活用による文化財の保護 ・「歴史文化を活かした地域づくり協議会」や「日本遺産協議会」の事業の支援	・「歴史文化を活かした地域づくり協議会」を通じて地域の団体と連携し文化財の保護と活用を図りました。 ・観光部門と連携し、日本遺産認定を広く国内外に周知し、地域の活性化に取り組む「日本遺産協議会」を支援しました。 [今後の取組の方向性] ・市民や関係団体と連携し地域の文化財を保護・活用し地域の活性化を図ります。	・新たに市指定文化財2件、市登録文化財1件を指定登録 ・商工観光課と連携・協力し、「歴史文化を活かした地域づくり協議会」や「日本遺産協議会」が実施する事業の支援
3	生涯学習活動の推進 (社会教育課)	生涯学習情報をわかりやすく提供し、生涯学習活動への参加を促進するとともに、自主的な活動を推進するリーダーの養成や活動団体による学びあいや学びを活かす取り組みを展開します。 また、大田公民館と大田ふれあいセンターの統合と受益者負担の導入を進めます。	・学習情報提供やホームページの充実 ・9月議会において、大田公民館と大田ふれあいセンターの統合と受益者負担の導入に関する条例の改正を行う	・生涯学習活動をより活発にするため、ホームページなどを通じて、学習情報の提供に努めました。 ・平成31年4月の大田公民館と大田ふれあいセンターの統合や平成31年7月の公共施設の有料化に向けた準備を進めました。 [今後の取組の方向性] ・学習情報をわかりやすく提供するとともに、学習成果を地域へ活かす取り組みを進めます。	・ホームページ等による学習機会の情報提供 ・9月議会における大田公民館と大田ふれあいセンターの統合と教育施設有料化の導入に関する条例の改正
4	図書館・子ども科学館事業の充実 (図書館・子ども科学館)	図書館ボランティアや子ども科学館支援会員の協力を得て、各世代に向けたさまざまな事業を展開し、読書活動の普及や創造性豊かな青少年の育成に努めます。 また、子ども科学館の機能の複合化や他機能への転換について、関係課等と協議を重ね検討を進めます。	・新たに図書館においてボランティア活動を開始する人数 5名 ・科学館支援会員の活動時間 600時間	・市民ボランティアと連携し、各種事業を展開し市民の読書活動の普及に努めました。 ・子ども科学館支援会員の協力を得て事業を推進し、科学する心を育みました。 [今後の取組の方向性] ・図書館ボランティアや科学館支援会員と連携し、市民の学習活動を支援して行きます。 ・子ども科学館の他機能への転換について、引き続き関係課との検討を進めます。	・新たに図書館においてボランティア活動を始めた人数 16名 ・科学館支援会員の活動時間 590時間